

白蘭



白蘭小学校 学校便り
第10号
令和元年12月24日(火)

【学校教育目標】

- 深く学ぶ子
- 心豊かな子
- 健康な子
- 未来をつくる子

『這(は)えば立て、立てば歩めの親心』

室蘭市立白蘭小学校 教頭

子が這えるようになると早くつかまり立ちが出来ないかと思い、立つようになると、今度は早く歩けるようにならないかと願う。我が子の成長を待ちわびる親の気持ちを表した言葉です。

子どもの成長というのはめまぐるしいもので、親にしてみればちょっと前のことを忘れてしまうほど、慌ただしいと思います。

毎朝、玄関で子どもたちの様子をみていると、自分自身の子育てを思い出してしまいます。今思えば、遠い昔のことにように思えてきます。我が家の二人の子どもは、高校生と中学生。子育ても終盤に差しかかり、親離れしていく子どもたちに心がむなしく思えるときがあるのです。生まれたばかりの頃に待ち望んだことを迎えてきたのに……。十数年という歳月は長かったのですが、これがずっと続くものと思っていました。子どもからたくさんのことを学び、親として成長させてもらいました。小さい子が家庭にいると活気が生まれてきます。親として右も左もわからないまま、無我夢中で育てた頃が懐かしくて、貴重な日々だったのだなとつくづく思います。生まれたての頃は毎日が戦いのような感じで、家に帰ってくると仕事のことなど考える余裕すらありませんでした。幸い、妻の親と同居でしたから昼は子供の面倒を見てもらい安心して仕事に打ち込めたのも、今となってはありがたいことだったと感じています。

「這えば立て」と思っていたあの頃と違い、もう自分の足で外の世界に出ていくようになっていきます。まだまだこれから大きな荒波が待ち受けています。自分自身、親として未熟ですが、子どもの成長をそっと見守り、どんどん成長していく様子を支えていきたいと思います。これからどんな人生劇場をつくり出していくのか楽しみです。ちなみに、「這えば立て～」の後ろの文には「わが身につもる老いを忘れて」と続くのです。子が成長すると共に親はその分歳を増していくのです。自明の理なのですが。

と自分のことを語ってしまいましたが、そんな親心を持って、新年も白蘭小の子どもたちの成長を支えていきたいと思っております。

最後になりますが、学校評価にかかわるアンケートの記入、誠にありがとうございました。たくさん頂きました建設的なご意見を、令和2年度の学校教育活動にいかしてまいりたいと思います。3学期始業式は、1月17日(金)です。冬休み明けに一回り大きくなった子ども達が、元気な笑顔で登校してくることを楽しみにしています。皆様、よいお年をお迎え下さい。